

# 『主体的・対話的で深い学び』の授業実践を振り返って

〇〇高等学校 地歴公民科 教諭 〇〇 〇〇

## 1 今回の授業から得たもの・見えてきたもの

### (1) 逆向き設計の授業（指導案）

これまでも指導案を作ってきたが、今回、指導案の様式が大きく変わっていたことに戸惑った。中でも単元の全体計画や評価の方法・観点等も考え、その後に各時間の中身を考えていくという流れ（逆向き設計）は、新鮮で、様々な事を考えさせられた。

これまでは、授業での目的をはっきりと提示することが少なく、生徒の方も目的が曖昧な状態で授業を受けていたと思う。しかし、今回最終的に達成したい目標を達成するために、この授業では〇〇をするという風に授業の目的を明確にしたことで、生徒も活動に見通しが持て、集中して取り組めたように思う。また、自分自身の教えなければならない事が整理できたように思う。

### (2) 評価について

今回、指導案を作っていく中で、「評価規準」について普段以上に考えた。単元の各授業で何を規準に評価をするか、これまであまり考えたことがなかったが、今回の指導案では見通しを持って学習計画を立てる必要があったため、各授業ごとに何を評価するのか明確になる事を意識した。実際に授業をしてみたが、教師側も評価の視点がはっきりしているのも、生徒の活動等も着眼点を持ち評価することができた。

### (3) 実際の授業を行ってみて

「主体的・対話的で深い学び」ということで、できるだけ教師側が答えを教えないよう意識した。他にも意識した点は、以下の通りである。

- ・資料の読解・活用（地形図）
- ・地形図と既存の知識を使い「地理的な見方・考え方」で思考する
- ・ペアワークを行い、教え合う雰囲気醸成
- ・教師との対話
- ・仮説を立て、地形図や航空写真から確認する
- ・思考のブレを作る

評価規準や活動内容がはっきりしていたため、シンプルに考えることができた。準備にかかる労力が莫大で（特に資料をそろえること）あったが、深い学びに繋がると学力も定着するように感じた。

## 2 今後について

今回は生徒の活動も概ね良好で、深い学びも行うことができたと思う。前にも述べた通り、深い学びを行うことが学力の定着に繋がると思うので、今後も意識して継続していきたい。

しかし、生徒の考え方や発言一つで授業の進む方向が変わると思うので、多くのことを想定して教材研究をしていかなければならないと感じた。